

社会歯科学

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 1単位

《担当者名》○三浦 宏子(歯学部) hmiura@ 村田 幸枝(歯学部) y-murata@
水谷 博幸(非常勤講師) 丹下 貴司(非常勤講師) 井田 有亮(非常勤講師)
本田 和枝(非常勤講師) 萩野 司(非常勤講師)

【概要】

歯科医師としての社会的行為である歯科医療・保健活動を実践するために、歯科医療・保健に関する法律、制度、倫理、需給関係、医療経済等に関する知識を修得するとともに、歯科口腔保健サービスの供給体制の概要を複合的に理解する。

【学修目標】

超高齢社会における保健医療福祉の理念とシステムについて説明できる。
歯科医師としての社会的役割と責任について説明できる。
住民・患者を生活者として見る視点を拡大し、歯科医療の専門家としてニーズに応える方略について説明できる。
住民・患者を中核とする歯科保健医療システムについて説明できる。
我が国の歯科保健医療の現状と課題について説明できる。
保健医療専門職のプロフェッショナリズムについて説明できる。
予防の概念に基づき、健康増進へ貢献するための方略について説明できる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

三浦宏子(歯科医師)、村田幸枝(歯科医師)、水谷博幸(歯科医師)、丹下貴司(歯科医師)、井田有亮(歯科医師)、本田和枝(歯科医師)、萩野 司(歯科医師)

【実務経験を活かした教育内容】

社会歯科学は、個人の健康のみならず、地域社会全体に寄与する科目であり、学理に則った教育内容と実務経験の両者をバランスよく学ぶことで教育成果が期待できる。